

資料1 各群ごとの合計点

プラスマイナス

職員 医療

1. 作業内容

1 - ⑥-4 決まった相手にいつも連絡する	《 5 0 》
1 - ④-3 簡単な機械操作をたまに行なう	《 4 4 》
1 - ④-2 ワープロ、パソコンを操作する	《 4 2 》
1 - ③-2 金銭を取り扱う必要がある	《 3 5 》
1 - ⑥-3 何人かで相談する必要がある	《 3 5 》
1 - ②-2 重量物の運搬が多い	《 3 5 》
1 - ②-1 一日を通じて立ち仕事である	《 3 4 》
1 - ③-1 計算をする必要がある	《 3 4 》
1 - ⑤-4 知識が必要とされる	《 3 4 》
1 - ③-3 文章を作成したり、取り扱う	《 3 3 》
1 - ④-4 精密機械を扱う必要がある	《 3 2 》
1 - ⑤-2 熟練が要求される	《 3 1 》
1 - ①-2 手指の細かい動きを要する	《 2 9 》
1 - ⑥-1 社外の人と話さなければならない	《 2 8 》
1 - ⑥-2 仕事中で大勢で話し合うことがある	《 2 8 》
1 - ①-1 作業にスピードを要する	《 2 7 》
1 - ⑤-5 製品に高精度が要求される	《 2 5 》
1 - ①-3 一瞬の判断が必要である	《 2 4 》
1 - ②-3 一日の勤務時間が長い	《 2 4 》
1 - ⑤-1 手順が込み入っている	《 2 2 》
1 - ⑤-3 難しい判断が要求される	《 2 0 》

2. 作業条件 設備 休憩

2 - ②-1 温度・湿度管理がなされている	《 5 6 》
2 - ④-3 休憩室がある	《 5 6 》
2 - ②-2 作業姿勢が楽である	《 5 5 》
2 - ④-4 個別に休憩室を使える	《 5 5 》
2 - ②-3 作業場の照明が十分に明るい	《 5 4 》
2 - ①-3 機械に安全装置がついている	《 5 0 》
2 - ①-4 安全教育がなされている	《 5 0 》
2 - ②-4 作業場の色彩が明るい	《 5 0 》
2 - ⑥-5 指示をもらう回数が多い	《 3 4 》
2 - ⑤-1 忙しさが一日の中で変化する	《 3 2 》
2 - ⑤-5 時として特別な仕事が入る	《 3 0 》
2 - ③-4 服が汚れることが普通	《 3 1 》
2 - ⑤-3 作業する場所が一日の中で変わる	《 2 8 》
2 - ③-1 ほこりがたっていることが普通	《 2 8 》
2 - ⑤-6 工程を3種類以上、受け持つ	《 2 7 》
2 - ⑥-3 自分の判断で進める必要がある	《 2 6 》
2 - ③-3 においが強いのが普通	《 2 4 》
2 - ④-1 休憩時間が短い	《 2 4 》
2 - ⑤-2 作業する場所が数日で変わる	《 2 4 》
2 - ③-2 音がうるさいのが普通	《 2 3 》
2 - ④-2 休憩の回数が少ない	《 2 3 》

- | | |
|------------------------|---------|
| 2 - ⑤-4 同じ製品でも作業順序が変わる | 《 2 2 》 |
| 2 - ⑥-1 臨機応変さが求められる | 《 2 2 》 |
| 2 - ①-1 機敏に動かないと危険 | 《 2 1 》 |
| 2 - ⑥-4 きまりに例外が多い | 《 2 0 》 |
| 2 - ①-2 常に注意をしていないと危険 | 《 1 9 》 |

3. 作業環境 人的 形態

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 3 - ③-4 大勢で作業するが自分のペースでできる | 《 5 9 》 |
| 3 - ⑤-2 指示は決まった人からである | 《 5 7 》 |
| 3 - ⑤-4 作業ごとの指示書ができている | 《 5 3 》 |
| 3 - ⑤-5 作業ごとに仕様書ができている | 《 5 3 》 |
| 3 - ⑤-3 上司による調整がされる | 《 5 1 》 |
| 3 - ⑤-1 仕事内容が前日に分かる | 《 4 9 》 |
| 3 - ③-5 作業は他から全く独立している | 《 4 8 》 |
| 3 - ③-2 ローテーションで交替する必要がある | 《 3 5 》 |
| 3 - ③-1 流れ作業で持ち場から離れにくい | 《 3 4 》 |
| 3 - ④-4 グループの生産性が問題にされる | 《 3 3 》 |
| 3 - ①-1 共同作業のための室内が狭い | 《 3 2 》 |
| 3 - ①-2 自分の作業スペースが狭い | 《 3 1 》 |
| 3 - ⑥-2 早出、遅出がある（ローテーション） | 《 3 0 》 |
| 3 - ④-1 ノルマがきまっている | 《 2 8 》 |
| 3 - ⑥-3 土日祝日に勤務がある | 《 2 7 》 |
| 3 - ②-3 1 フロアに30人以上が作業する | 《 2 7 》 |
| 3 - ③-3 作業相手のスピードに合わせる必要がある | 《 2 5 》 |
| 3 - ⑥-1 超過勤務がある | 《 2 3 》 |
| 3 - ④-2 個人の生産性が話題にされる | 《 2 1 》 |
| 3 - ④-3 個人の生産性が表示される | 《 2 0 》 |
| 3 - ⑥-4 夜間勤務がある | 《 1 9 》 |

4. 環境整備 導入 訓練 配転

- | | |
|-------------------------|---------|
| 4 - ④-2 障害への対応の経験がある | 《 6 3 》 |
| 4 - ③-3 周囲があたたかく、やさしい | 《 6 1 》 |
| 4 - ③-4 話を聞いてくれる人がいる | 《 6 1 》 |
| 4 - ④-1 障害についての知識がある | 《 6 1 》 |
| 4 - ④-3 よく話を聞く | 《 6 0 》 |
| 4 - ④-4 よく相談に乗る | 《 6 0 》 |
| 4 - ①-3 十分な訓練期間がある | 《 5 9 》 |
| 4 - ③-5 相談相手が決められている | 《 5 8 》 |
| 4 - ①-4 障害者への教育訓練の工夫がある | 《 5 8 》 |
| 4 - ④-5 外部機関とよく連絡する | 《 5 8 》 |
| 4 - ⑤-1 フィードバックし、反復する | 《 5 8 》 |
| 4 - ⑤-2 指導担当者が配置される | 《 5 8 》 |
| 4 - ⑤-4 支持的にあたたかく指導する | 《 5 7 》 |
| 4 - ①-5 外部からジョブコーチが得られる | 《 5 5 》 |
| 4 - ①-1 教育訓練のプログラムがある | 《 5 3 》 |
| 4 - ①-2 教育のためのマニュアルがある | 《 5 2 》 |
| 4 - ③-1 活気があって明るい | 《 5 2 》 |
| 4 - ②-1 いろいろ試行して決める | 《 5 1 》 |

4 - ②-4 外部機関の職員からの助言を得る	《 5 1 》
4 - ⑤-3 自信や根気の養成を主眼とする	《 5 1 》
4 - ②-3 O J T で個別訓練をする	《 5 0 》
4 - ⑥-2 企画・計画に参加させる	《 4 9 》
4 - ②-2 希望を聞いて配置する	《 4 9 》
4 - ⑥-3 部分的に責任を与える	《 4 7 》
4 - ⑥-1 職歴、経験を尊重する	《 4 5 》
4 - ③-2 年齢が若い人が多い	《 4 3 》

5. 職場環境 規模 業種 地理

5 - ⑤-2 周囲が障害を理解している	《 6 1 》
5 - ⑥-1 障害者用の設備がある	《 6 1 》
5 - ⑥-2 障害に合う治具が用意される	《 6 0 》
5 - ③-3 車の送迎がある	《 6 0 》
5 - ④-1 時間休暇が取れる	《 5 9 》
5 - ③-2 交通の便はよい	《 5 8 》
5 - ④-2 就業時間を設定できる	《 5 8 》
5 - ⑤-1 周囲が障害を知らされている	《 5 4 》
5 - ①-4 ほとんどが作業仲間である	《 4 9 》
5 - ③-4 少し遠くだが歩ける	《 4 6 》
5 - ①-3 ほとんど顔見知りで挨拶をする	《 4 5 》
5 - ①-1 外部の人が多勢出入りする	《 2 9 》

6. 雇用管理 賃金 休暇

6 - ②-2 休暇が取り易い	《 5 8 》
6 - ⑤-3 職業相談員がいる	《 5 8 》
6 - ②-3 有給休暇が多い	《 5 4 》
6 - ④-2 家族との定期的接触をする	《 5 4 》
6 - ④-1 日常生活面の指導を行う	《 5 2 》
6 - ④-3 生活指導の担当者がいる	《 5 2 》
6 - ④-4 毎日の連絡手段がある	《 5 0 》
6 - ②-1 休日が多い	《 5 0 》
6 - ③-2 社内行事がある	《 4 9 》
6 - ③-3 余暇活動への補助がある	《 4 9 》
6 - ⑤-2 定着推進チームがある	《 4 9 》
6 - ③-1 社宅、寮がある	《 4 7 》
6 - ①-1 昇給が遅い	《 3 1 》
6 - ①-2 時給が安い	《 3 0 》
6 - ①-3 正規雇用にならない	《 2 8 》
6 - ⑤-1 上司の異動が頻繁である。	《 2 0 》

7. 経営方針等

7 - ②-3 障害者の従業員の満足度が高い	《 6 2 》
7 - ⑤-4 通院が承認されている	《 6 1 》
7 - ②-2 採用した障害者の定着がよい	《 6 0 》
7 - ⑤-3 メンタルヘルスへの関心が高い	《 6 0 》
7 - ⑥-1 医療側から職場訪問を受ける	《 5 9 》
7 - ③-2 上司の教育が体系的になされる	《 5 8 》

7 - ③-3 手引等が作成、利用されている	《 5 8 》
7 - ⑥-2 送り出す施設からの支援を受ける	《 5 7 》
7 - ③-1 職場への教育プログラムがある	《 5 7 》
7 - ④-1 助成による設備変更をした	《 5 7 》
7 - ④-2 適応訓練制度を利用した	《 5 7 》
7 - ⑥-3 施設職員と連携している	《 5 6 》
7 - ⑥-4 専門機関での研修に参加する	《 5 5 》
7 - ②-1 各種の障害者を採用している	《 5 4 》
7 - ②-4 古くからの雇用実績がある	《 5 4 》
7 - ①-4 助成制度の利用に熱心である	《 5 3 》
7 - ⑤-2 在宅雇用を検討している	《 5 2 》
7 - ①-2 貴重な人材として育成する	《 5 0 》
7 - ①-1 社会貢献の意識が強い	《 4 8 》
7 - ⑤-1 フレックスタイムを導入した	《 4 6 》
7 - ①-3 職場の職務再設計を考える	《 4 4 》

企業

1. 作業内容

1 - ⑥-4 決まった相手にいつも連絡する	《 3 4 》
1 - ④-3 簡単な機械操作をたまに行なう	《 3 2 》
1 - ④-1 機械操作をずっと繰り返す	《 3 0 》
1 - ②-1 一日を通じて立ち仕事である	《 2 6 》
1 - ③-1 計算をする必要がある	《 2 6 》
1 - ⑤-4 知識が必要とされる	《 2 5 》
1 - ④-2 ワープロ、パソコンを操作する	《 2 4 》
1 - ①-2 手指の細かい動きを要する	《 2 3 》
1 - ②-2 重量物の運搬が多い	《 2 3 》
1 - ⑤-2 熟練が要求される	《 2 3 》
1 - ⑥-3 何人かで相談する必要がある	《 2 2 》
1 - ③-2 金銭を取り扱う必要がある	《 2 1 》
1 - ③-3 文章を作成したり、取り扱う	《 2 1 》
1 - ⑥-2 仕事中で大勢で話しあうことがある	《 2 0 》
1 - ⑤-5 製品に高精度が要求される	《 1 9 》
1 - ⑤-1 手順が込み入っている	《 1 8 》
1 - ②-3 一日の勤務時間が長い	《 1 7 》
1 - ①-3 一瞬の判断が必要である	《 1 7 》
1 - ⑤-3 難しい判断が要求される	《 1 7 》
1 - ⑥-1 社外の人と話さなければならない	《 1 7 》
1 - ④-4 精密機械を扱う必要がある	《 1 6 》
1 - ①-1 作業にスピードを要する	《 1 6 》

2. 作業条件 設備 休憩

2 - ④-3 休憩室がある	《 5 0 》
2 - ②-1 温度・湿度管理がなされている	《 4 6 》
2 - ①-3 機械に安全装置がついている	《 4 6 》
2 - ④-4 個別に休憩室を使える	《 4 4 》
2 - ①-4 安全教育がなされている	《 4 1 》
2 - ②-3 作業場の照明が十分に明るい	《 4 1 》

2 - ②-4 作業場の色彩が明るい	《 4 1 》
2 - ②-2 作業姿勢が楽である	《 4 0 》
2 - ⑥-2 ダブルチェックがある	《 3 8 》
2 - ④-1 休憩時間が短い	《 2 5 》
2 - ③-4 服が汚れることが普通	《 2 4 》
2 - ④-2 休憩の回数が少ない	《 2 2 》
2 - ⑥-5 指示をもらう回数が多い	《 2 2 》
2 - ③-1 ほこりがたっていることが普通	《 2 1 》
2 - ⑤-1 忙しさが一日の中で変化する	《 2 1 》
2 - ⑤-3 作業する場所が一日の中で変わる	《 2 1 》
2 - ⑥-3 自分の判断で進める必要がある	《 2 0 》
2 - ③-2 音がうるさいのが普通	《 1 9 》
2 - ③-3 においが強いのが普通	《 1 9 》
2 - ⑤-4 同じ製品でも作業順序が変わる	《 1 9 》
2 - ⑤-5 時として特別な仕事が入る	《 1 9 》
2 - ①-1 機敏に動かないと危険	《 1 8 》
2 - ①-2 常に注意をしていないと危険	《 1 7 》
2 - ⑤-6 工程を3種類以上、受け持つ	《 1 7 》
2 - ⑥-1 臨機応変さが求められる	《 1 7 》
2 - ⑤-2 作業する場所が数日で変わる	《 1 6 》
2 - ⑥-4 きまりに例外が多い	《 1 5 》

3. 作業環境 人的 形態

3 - ⑤-4 作業ごとの指示書ができる	《 4 8 》
3 - ⑤-5 作業ごとに仕様書ができる	《 4 7 》
3 - ⑤-2 指示は決まった人からである	《 4 7 》
3 - ③-4 大勢で作業するが自分のペースでできる	《 4 5 》
3 - ③-5 作業は他から全く独立している	《 4 3 》
3 - ⑤-1 仕事内容が前日に分かる	《 4 3 》
3 - ⑤-3 上司による調整がされる	《 3 8 》
3 - ③-1 流れ作業で持ち場から離れにくい	《 2 9 》
3 - ②-1 ペアになってする作業が多い	《 2 8 》
3 - ⑥-2 早出、遅出がある（ローテーション）	《 2 7 》
3 - ④-2 個人の生産性が話題にされる	《 2 6 》
3 - ④-1 ノルマがきまっている	《 2 5 》
3 - ④-3 個人の生産性が表示される	《 2 5 》
3 - ④-4 グループの生産性が問題にされる	《 2 5 》
3 - ③-3 作業相手のスピードに合わせる必要がある	《 2 2 》
3 - ①-2 自分の作業スペースが狭い	《 2 1 》
3 - ⑥-3 土日祝日に勤務がある	《 2 1 》
3 - ②-3 1フロアに30人以上が作業する	《 2 0 》
3 - ①-1 共同作業のための室内が狭い	《 1 9 》
3 - ⑥-1 超過勤務がある	《 1 8 》
3 - ⑥-4 夜間勤務がある	《 1 8 》

4. 勤務場所 差入 訓練 配転

4 - ①-4 障害者への教育訓練の工夫がある	《 5 0 》
4 - ③-4 話を聞いてくれる人がいる	《 4 8 》

4 - ④-1 障害についての知識がある	《 4 7 》
4 - ④-2 障害への対応の経験がある	《 4 7 》
4 - ①-2 教育のためのマニュアルがある	《 4 6 》
4 - ①-3 十分な訓練期間がある	《 4 6 》
4 - ①-5 外部からジョブコーチが得られる	《 4 6 》
4 - ⑤-2 指導担当者が配置される	《 4 6 》
4 - ④-3 よく話を聞く	《 4 5 》
4 - ④-4 よく相談に乗る	《 4 5 》
4 - ⑤-4 支持的にあたたかく指導する	《 4 5 》
4 - ③-3 周囲があたたかく、やさしい	《 4 5 》
4 - ①-1 教育訓練のプログラムがある	《 4 4 》
4 - ⑤-3 自信や根気の養成を主眼とする	《 4 4 》
4 - ⑤-1 フィードバックし、反復する	《 4 4 》
4 - ③-5 相談相手が決められている	《 4 3 》
4 - ④-5 外部機関とよく連絡する	《 4 3 》
4 - ②-3 O J T で個別訓練をする	《 4 2 》
4 - ②-1 いろいろ試行して決める	《 4 2 》
4 - ③-1 活気があつて明るい	《 4 1 》
4 - ②-2 希望を聞いて配置する	《 3 9 》
4 - ⑥-1 職歴、経験を尊重する	《 3 8 》
4 - ⑥-3 部分的に責任を与える	《 3 8 》
4 - ②-4 外部機関の職員からの助言を得る	《 3 7 》

5. 職場環境 規模 業種 地理

5 - ⑥-1 障害者用の設備がある	《 4 6 》
5 - ⑥-2 障害に合う治具が用意される	《 4 5 》
5 - ③-3 車の送迎がある	《 4 4 》
5 - ⑤-2 周囲が障害を理解している	《 4 4 》
5 - ④-1 時間休暇が取れる	《 4 3 》
5 - ③-2 交通の便はよい	《 4 2 》
5 - ⑤-1 周囲が障害を知らされている	《 4 2 》
5 - ③-4 少し遠くだが歩ける	《 4 0 》
5 - ①-4 ほとんどが作業仲間である	《 4 0 》
5 - ④-2 就業時間を設定できる	《 3 9 》
5 - ①-3 ほとんど顔見知りで挨拶をする	《 3 9 》
5 - ②-2 食物の材料を扱う	《 2 8 》
5 - ③-1 市街地から離れている	《 2 7 》
5 - ①-2 他の部署の人は顔も知らない	《 2 4 》
5 - ①-1 外部の人が多勢出入りする	《 2 0 》

6. 雇用管理 賃金 休暇

6 - ⑤-1 上司の異動が頻繁である。	《 4 4 》
6 - ④-4 毎日の連絡手段がある	《 4 3 》
6 - ②-2 休暇が取り易い	《 4 2 》
6 - ⑤-3 職業相談員がいる	《 4 2 》
6 - ⑤-2 定着推進チームがある	《 4 1 》
6 - ②-1 休日が多い	《 4 1 》
6 - ③-1 社宅、寮がある	《 4 0 》

6 - ④-1 日常生活面の指導を行う	《 4 0 》
6 - ④-2 家族との定期的接触をする	《 3 9 》
6 - ④-3 生活指導の担当者がいる	《 3 9 》
6 - ③-3 余暇活動への補助がある	《 3 8 》
6 - ②-3 有給休暇が多い	《 3 8 》
6 - ③-2 社内行事がある	《 3 7 》
6 - ①-1 昇給が遅い	《 2 8 》
6 - ①-3 正規雇用にならない	《 2 7 》
6 - ①-2 時給が安い	《 2 5 》

7. 経営方針等

7 - ⑤-4 通院が承認されている	《 4 6 》
7 - ②-2 採用した障害者の定着がよい	《 4 6 》
7 - ②-3 障害者の従業員の満足度が高い	《 4 6 》
7 - ③-1 職場への教育プログラムがある	《 4 5 》
7 - ③-3 手引等が作成、利用されている	《 4 5 》
7 - ④-1 助成による設備変更をした	《 4 5 》
7 - ②-4 古くからの雇用実績がある	《 4 4 》
7 - ③-2 上司の教育が体系的になされる	《 4 3 》
7 - ①-3 職場の職務再設計を考える	《 4 3 》
7 - ①-4 助成制度の利用に熱心である	《 4 3 》
7 - ⑥-3 施設職員と連携している	《 4 3 》
7 - ⑤-1 フレックスタイムを導入した	《 4 2 》
7 - ⑥-2 送り出す施設からの支援を受ける	《 4 2 》
7 - ①-2 貴重な人材として育成する	《 4 2 》
7 - ⑤-3 メンタルヘルスへの関心が高い	《 4 2 》
7 - ⑥-1 医療側から職場訪問を受ける	《 4 1 》
7 - ④-2 適応訓練制度を利用した	《 4 0 》
7 - ①-1 社会貢献の意識が強い	《 4 0 》
7 - ⑥-4 専門機関での研修に参加する	《 4 0 》
7 - ②-1 各種の障害者を採用している	《 3 9 》
7 - ⑤-2 在宅雇用を検討している	《 3 8 》

当事者

1. 作業内容

1 - ④-3 簡単な機械操作をたまに行なう	《 4 6 》
1 - ⑥-3 何人かで相談する必要がある	《 4 2 》
1 - ②-1 一日を通じて立ち仕事である	《 4 1 》
1 - ⑥-2 仕事中で大勢で話し合うことがある	《 4 0 》
1 - ⑥-4 決まった相手にいつも連絡する	《 4 0 》
1 - ①-2 手指の細かい動きを要する	《 3 8 》
1 - ④-1 機械操作をずっと繰り返す	《 3 8 》
1 - ⑥-1 社外の人と話さなければならない	《 3 7 》
1 - ④-4 精密機械を扱う必要がある	《 2 7 》
1 - ⑤-3 難しい判断が要求される	《 2 7 》
1 - ⑤-1 手順が込み入っている	《 2 7 》
1 - ③-1 計算をする必要がある	《 2 6 》
1 - ③-2 金銭を取り扱う必要がある	《 2 5 》

1 - ④-2 ワープロ、パソコンを操作する 《 2 1 》

2. 作業条件 設備 休憩

- | | |
|------------------------|---------|
| 2 - ④-3 休憩室がある | 《 5 1 》 |
| 2 - ①-4 安全教育がなされている | 《 4 9 》 |
| 2 - ②-4 作業場の色彩が明るい | 《 4 9 》 |
| 2 - ②-1 温度・湿度管理がなされている | 《 4 8 》 |
| 2 - ②-3 作業場の照明が十分に明るい | 《 4 8 》 |
| 2 - ④-4 個別に休憩室を使える | 《 4 7 》 |
| 2 - ①-3 機械に安全装置がついている | 《 4 6 》 |
| 2 - ②-2 作業姿勢が楽である | 《 4 4 》 |
| 2 - ⑥-3 自分の判断で進める必要がある | 《 3 7 》 |
| 2 - ④-2 休憩の回数が少ない | 《 2 9 》 |
| 2 - ⑤-2 作業する場所が数日で変わる | 《 2 8 》 |
| 2 - ①-1 機敏に動かないと危険 | 《 2 8 》 |
| 2 - ①-2 常に注意をしてないと危険 | 《 2 7 》 |
| 2 - ④-1 休憩時間が短い | 《 2 6 》 |
| 2 - ③-2 音がうるさいのが普通 | 《 2 6 》 |
| 2 - ③-1 ほこりがたっていることが普通 | 《 2 5 》 |
| 2 - ③-4 服が汚れることが普通 | 《 2 4 》 |
| 2 - ③-3 においが強いのが普通 | 《 2 2 》 |
| 2 - ⑤-6 工程を3種類以上、受け持つ | 《 2 2 》 |

3. 作業環境 人的 形態

- | | |
|----------------------------|---------|
| 3 - ③-3 作業相手のスピードに合わせる必要 | 《 4 6 》 |
| 3 - ③-4 大勢で作業するが自分のペースでできる | 《 4 6 》 |
| 3 - ⑤-3 上司による調整がされる | 《 4 5 》 |
| 3 - ⑤-5 作業ごとに仕様書ができている | 《 4 4 》 |
| 3 - ⑤-1 仕事内容が前日に分かる | 《 4 3 》 |
| 3 - ⑤-2 指示は決まった人からである | 《 4 2 》 |
| 3 - ⑤-4 作業ごとの指示書ができている | 《 4 2 》 |
| 3 - ②-2 作業グループは10人程度である | 《 3 7 》 |
| 3 - ④-2 個人の生産性が話題にされる | 《 2 9 》 |
| 3 - ④-4 グループの生産性が問題にされる | 《 2 6 》 |
| 3 - ④-1 ノルマがきまっている | 《 2 5 》 |
| 3 - ⑥-4 夜間勤務がある | 《 2 5 》 |
| 3 - ①-1 共同作業のための室内が狭い | 《 2 4 》 |
| 3 - ①-2 自分の作業スペースが狭い | 《 2 4 》 |
| 3 - ④-3 個人の生産性が表示される | 《 2 3 》 |

4. 職場配置 導入 訓練 配転

- | | |
|-----------------------|---------|
| 4 - ③-4 話を聞いてくれる人がいる | 《 5 1 》 |
| 4 - ⑤-1 フィードバックし、反復する | 《 5 1 》 |
| 4 - ⑤-4 支持的にあたたかく指導する | 《 5 0 》 |
| 4 - ④-1 障害についての知識がある | 《 5 0 》 |
| 4 - ③-3 周囲があたたかく、やさしい | 《 5 0 》 |
| 4 - ④-2 障害への対応の経験がある | 《 4 9 》 |
| 4 - ②-3 O J Tで個別訓練をする | 《 4 8 》 |

4 - ②-2 希望を聞いて配置する	《 4 7 》
4 - ⑤-2 指導担当者が配置される	《 4 7 》
4 - ④-4 よく相談に乗る	《 4 7 》
4 - ④-5 外部機関とよく連絡する	《 4 6 》
4 - ③-1 活気があって明るい	《 4 6 》
4 - ④-3 よく話を聞く	《 4 6 》
4 - ①-3 十分な訓練期間がある	《 4 6 》
4 - ③-5 相談相手が決められている	《 4 5 》
4 - ①-2 教育のためのマニュアルがある	《 4 4 》
4 - ①-4 障害者への教育訓練の工夫がある	《 4 4 》
4 - ②-1 いろいろ試行して決める	《 4 4 》
4 - ①-1 教育訓練のプログラムがある	《 4 3 》
4 - ⑤-3 自信や根気の養成を主眼とする	《 4 3 》
4 - ⑥-1 職歴、経験を尊重する	《 4 0 》
4 - ①-5 外部からジョブコーチが得られる	《 3 9 》
4 - ③-2 年齢が若い人が多い	《 3 9 》
4 - ②-4 外部機関の職員からの助言を得る	《 3 9 》

5. 耳聴場環境 規模 業種 地理

5 - ⑤-2 周囲が障害を理解している	《 5 1 》
5 - ③-3 車の送迎がある	《 5 0 》
5 - ①-4 ほとんどが作業仲間である	《 4 9 》
5 - ④-1 時間休暇が取れる	《 4 8 》
5 - ③-2 交通の便はよい	《 4 6 》
5 - ④-2 就業時間を設定できる	《 4 5 》
5 - ⑥-1 障害者用の設備がある	《 4 5 》
5 - ⑥-2 障害に合う治具が用意される	《 4 5 》
5 - ⑤-1 周囲が障害を知らされている	《 4 4 》
5 - ①-3 ほとんど顔見知りで挨拶をする	《 4 4 》
5 - ②-1 工業製品をつくる	《 4 0 》
5 - ③-1 市街地から離れている	《 2 7 》
5 - ①-2 他の部署の人は顔も知らない	《 2 0 》
5 - ①-1 外部の人が多勢出入りする	《 1 9 》

6. 雇用管理 賃金 休暇

6 - ⑤-3 職業相談員がいる	《 5 1 》
6 - ③-3 余暇活動への補助がある	《 4 9 》
6 - ③-2 社内行事がある	《 4 7 》
6 - ④-4 毎日の連絡手段がある	《 4 6 》
6 - ②-2 休暇が取り易い	《 4 5 》
6 - ④-3 生活指導の担当者がいる	《 4 5 》
6 - ②-3 有給休暇が多い	《 4 4 》
6 - ⑤-2 定着推進チームがある	《 4 4 》
6 - ③-1 社宅、寮がある	《 4 4 》
6 - ④-1 日常生活面の指導を行う	《 4 4 》
6 - ④-2 家族との定期的接触をする	《 4 1 》
6 - ②-1 休日が多い	《 3 7 》
6 - ⑤-1 上司の異動が頻繁である。	《 2 3 》

6 - ①-2 時給が安い	《 2 1 》
6 - ①-3 正規雇用にならない	《 2 0 》
6 - ①-1 昇給が遅い	《 1 9 》

7. 経営方針等

7 - ⑤-4 通院が承認されている	《 5 3 》
7 - ①-2 貴重な人材として育成する	《 5 2 》
7 - ⑤-3 メンタルヘルスへの関心が高い	《 5 0 》
7 - ①-4 助成制度の利用に熱心である	《 4 9 》
7 - ②-4 古くからの雇用実績がある	《 4 7 》
7 - ②-2 採用した障害者の定着がよい	《 4 6 》
7 - ②-3 障害者の従業員の満足度が高い	《 4 6 》
7 - ③-2 上司の教育が体系的になされる	《 4 6 》
7 - ⑥-3 施設職員と連携している	《 4 6 》
7 - ⑥-2 送り出す施設からの支援を受ける	《 4 5 》
7 - ⑥-4 専門機関での研修に参加する	《 4 5 》
7 - ①-3 職場の職務再設計を考える	《 4 5 》
7 - ⑥-1 医療側から職場訪問を受ける	《 4 4 》
7 - ③-1 職場への教育プログラムがある	《 4 4 》
7 - ①-1 社会貢献の意識が強い	《 4 4 》
7 - ④-2 適応訓練制度を利用した	《 4 4 》
7 - ③-3 手引等が作成、利用されている	《 4 2 》
7 - ②-1 各種の障害者を採用している	《 4 1 》
7 - ④-1 助成による設備変更をした	《 3 8 》
7 - ⑤-1 フレックスタイムを導入した	《 3 7 》
7 - ⑤-2 在宅雇用を検討している	《 2 6 》